

鎮咳と
祛痰に

ブロチン

肺結核、氣管枝炎、肺炎、感冒、百日咳並に其他呼吸器
病に基因する咳嗽喀痰ある場合に盛に賞用せらる。

醫學博士吉村喜作先生は
本剤を多數の患者に應用し、其の治
療を實驗醫報第二年第十四號に公表
せらる、其要に曰く………
(1) 本剤は祛痰と同時に鎮咳効と
して顯著確實なる效力を有す…
(2) 本剤は從來の祛痰薬に比し大
の如き數多の優越せる特點を有す…
(イ) 本剤は從來の祛痰薬の如
く粘膜を刺戟して分泌を促進乃

至增多せしむるが如き不快なる
作用を有せざるのみならず、却
て之を抑壓乃至減少し、同時に
粘液を溶解する作用を有し、
その喀出を容易ならしむ………
(ロ) 本剤は殆ど無味若くは苦後の
苦味を有するものにして、在來
の祛痰薬の如き不快の味を有せ
ざるを以て頗る服し易し……
(ハ) 従來の祛痰薬に於ける大なる
缺點たりし胃腸障碍、就中食慾
不振、嘔氣、嘔吐等の忌むべき
副作用を有せざるのみならず、

却て食欲を増進する傾あり………
(ニ) 祛痰と同時に鎮咳の作用を有
するは本剤の特長にして、從來
の祛痰薬の如く、麻痺
薬を併用するの必要なく、若し
之ある場合と雖も適に少量にて
足る………
(ミ) 本剤は以上の諸點の外、何等
忌むべき、若くは、危險なる副
作用を有せざるを以て、使用上
極めて安全にして最も實用的な
り。云々………
(實驗報告摘要集紙代遺品す)

粉末、錠剤、液剤、の三種あり、各處薬舗にて販賣す

本社
東京市町

五共株式會社

出張所
大阪・臺北・紐育